

かがやく女性

題字
福井県知事 西川一誠
第24号
発行者
(財)ふくい女性財団

今年開催した「参加型」研修会の一部を紹介いたします。それぞれの団体での会議や研修会の運営に活用してみませんか。

ふくい女性塾 編

今年のテーマは、「地域おこしまちづくり・観光」。この日の講師は、水上聡子氏（アルマスバイオ・コスモス研究所代表）でした。

主体性を高めるワークで、モチベーションアップへつなげよう！

★5分でまとめよう、ミニ作文

「自分にとって心地よいまちとは」がこの日の課題。指定されたキーワードを盛り込んで文章をまとめました。グループ内で課題を紹介し合った後、代表一人が発表しました。

★マインドマップ作成で、より具体的に！

用紙の中心にまず「キーワード」を記入。それを実現するための具体的なイメージを膨らませて、周りに枝葉を伸ばしていきます（マインドマップ）。その後マインドマップを提示して発表。「自分にとって心地よいまち」がより具体的に姿を見せてくれたのでは？
この方法、他の課題でも応用できそうです。

★ふりかえりシートで「学び」を確認

講座で「発見したこと」「思い出に残ったこと」「役に立ったこと」の3項目を記入することで、学びをより確かにしましょう。



◆これ、使える！楽しい工夫

●「隣と連結型」の自己紹介
この日は「今の気持ち」で自己紹介。「今…の気持ちの○○さんの隣の、今…の気持ちの△△です」の繰り返し。「一気に皆の表情が和み、その後のワークにつながっていききました。」

●「飴や質問」でグループ分け
同じ種類の飴をとった人同士が同じグループ。単純な質問に同じ答えをした人同士が同じグループ。

聴くだけじゃない！ 参加型の講座で 「気づき」がいっぱい

- ① 人の意見を否定、批判しない
 - ② グループ全員で協力する
- この2点を守って、できるだけ多くの意見を集めよう

講師からの注意点を守りながら、グループ毎に意見を出し合い、模造紙に整理していき、各グループの発表によって会場全体で意見を共有。それらを踏まえて、講師による「熱い気持ちが大切」とするリーダーシップ論が展開されました。

自分や他のメンバーの考え、そして講師の意見から、自分なりの答えが導き出されたのではないのでしょうか。



各グループの発表

ネットワークリーダー研修会 編

ブレインストーミングの手法でグループワーク。テーマは、「リーダーシップとは」。この日の講師は、社員研修などを手がける(株)ブリッジの長谷美左子氏が務めました。（敦賀市・美浜町・若狭町対象に開催）

会場で発表された意見の一部をご紹介します。次の3項目についてあなたならどう考えますか。

◆リーダーシップは何のために発揮するのか
異なった意見（人心）を調整し、方向性を定める

● 目的達成のため
● 組織を前進させるべく全体のバランスづくり

◆リーダーに求められる基本的な姿勢

- 公平で聴く耳を持つ
- 前向きで行動力（やる気）
- 冷静な判断力と決断力
- コミュニケーション力
- 目標の管理と評価
- 後継者の育成

◆人の心を動かすには

- 品格がある
- 社会経験が豊富
- 信頼がある
- 熱意、チャレンジ
- 相手を思いやる
- 誠実さ
- 包容力を持ち、温かい気持ちで接する



グループワーク

*ブレインストーミングは、発想支援法のひとつで、自由に意見を出し合い、出てきた意見を否定・批判しないで、テーマに関する多様な意見を抽出する技法のこと。

ふくい女性塾
公開講座

「あたりまえがふつうにある」まちづくり

福井県池田町長 杉本 博文氏

池田町は91%を山に囲まれた、人口三三〇〇人の小さな町で、農業が中心です。池田町の特色ある取り組みを杉本町長に語っていただきました。

池田町は、農業の総合産業化を目指しています。昔の農業は総合産業でした。今の農業は違います。池田町は、土を作るところから販売まで、総合産業として一体化しようとしているのです。「ゆうき・げんき・正直農業」を展開しているのです。家庭での生ゴミを回収し牛フンと混ぜてたい肥を作り、商品化します。このたい肥を使ってできた米や野菜を、町の産直マーケット「こっはい屋」で売ります。開店直後から多くのお客さんでにぎわい午前中に完売します。店では池田のおばちゃん、販売とともに旬の食材の美味しい食べ方や野菜の作り方などを教えてくれます。作った人の顔の見える商売で、「トレーサビリティ」ならぬ「おばちゃんシャベリティー」です。大それたことはできないけれど、毎日していることでいいのなら町民が参加しました。一品でも、みんなで作って集めたらけっこうな量になります（「百匠一品」）。ここでは、曲がったキュウリも利用できるし、「ちよつと安すぎ」と消費者から言われるし…面白い取り

組みです。

イベント「いけだエコキャンドル」は、廃油を使つたろうそく作りから運営まですべて手作り。町民の心と力をついにした感動のイベントです。

これらは、行政主導ではありません。町民挙げて独自のまちづくりに取り組んでいます。住民も行政もできることからまちづくりを。足元にあるものを本物に仕上げるまちづくりです。

そこに住むものが、そこにあるものを見抜き、生かす力と守り抜くことが大切ですね。エネルギーが豊富な町長さんのお話は、笑いあり、頷きあり、まちづくりの熱意を感じました。



ふくい女性塾

☆参加者の意見・声☆

- 参加者が色々な問題意識を持っていることに感心し、発奮。
- まちづくりは理論も大切。そして地に足を。
- 住民主体のまちづくりをとて身近に感じ、自分の近くにもあのような場所、みんなが参加できるところをつくってみたいと思った。
- 自分たちのまちで自分に何ができるのかを探し、頑張りたいと思つた。

- 団体として、地域のイベントへの参画の仕方のヒントを得ました。
- とにかく町内を眺め、集い、住民参加の場がないか、探そう。
- 今回のようなワークショップで、参加者全員の「参加型会議」をしていきたい。みんなが素直な気持ちで望んでいるものを表現できるから。
- 意見が出にくい時、少しリードしてヒントを与え意見を引き出すことや、出された意見の良い点を短くまとめて皆に紹介する講師の手法が、参考になりました。

◆◆男女共同参画セミナー◆◆

福井県議会傍聴

— 私の一票で当選した議員の仕事振りは? —

11月30日、福井県議会本会議を15名で傍聴しました。代表質問された議員の迫力に対して、知事や副知事、部長はそつなく答弁されているように思いました。背中しか見えない他の議員の方々は、熱心にメモをとる人もいれば、うつむき加減の人もいました。

一般傍聴者は私たちを除くと数人で、他にマスコミ関係者と思われる人が目立ちました。県議会を知るためには、傍聴か新聞の議会記事などマスコミによる報道しかありません。開会はずいぶん県民はなかなか傍聴できないので、マスコミ報道の役割はとても重要です。

議員の仕事の場は議会。「私の一票で当選した議員」の仕事振りを確認することはとても大切だと感じました。

◆福井県地方議会(県・市・町議会)における女性議員の割合5.5%(総議員数417名のうち女性23名)

平成18年12月31日現在 総務省調べ

全国は 9.4%

◆福井県審議会における女性委員の登用状況女性割合33.0%(委員総数1379名のうち女性455名)

福井県データは平成19年3月31日現在
全国平均は平成19年3月内閣府調べ

全国は 27.1%

*嶺南地域対象の男女共同参画セミナーは、「裁判員制度」について実施しました(12月1日 小浜市婦人の家にて)。

いきいきウーマン

毅然とした中にも優しさを併せ持つ中田祥子さん（福井県警 女性選抜捜査班長）をご紹介します。

Q：班長としての意気込みと、印象に残っていることは？

A：先例が無く草の根をかき分けて進んでいるが、女性にもできるということを示したい。刑法はじめ指紋のとり方など、自分の能力向上に努めることはもちろん、班員の弱点強化など班全体の能力アップを心がけています。
印象深いのは、犯人を検挙する瞬間です。今までと違い先頭に立つて行う立場になり、緊張・興奮がやりがいにつながっています。

Q：心身ともに緊張する職業と、家庭との両立を支えるものは？

A：基本は健康管理！夫とは、互いに自分のことは自分であることを約束。でも夫の食事バランスは気がかりです。また両親の援助は心強いです。

Q：女性へのメッセージは？

A：10年前は補助的立場であった女性警察官が、今はチームを任せられるようになりました。長いスパンで考え、地道に活躍の場を広げたい。自分の得意分野を活かし活躍の場を広げ、働きやすい環境を作っていって欲しいですね。



*女性だけで構成されている女性選抜捜査班（SWING）は、DVやストーカー、性犯罪などの解決を図るために平成19年8月に設置されました。

県政功労者知事表彰

男女共同参画功労者 水上 幸衛 ふくい女性財団理事長
男女共同参画社会の形成に永年寄与した功績が認められ、2月7日に表彰されました。

DV法(配偶者暴力防止法)一部改正！

平成20年1月11日施行

●保護命令制度の拡充

- ① 生命・身体に対する脅迫も対象となった。
- ② 接近禁止命令と併せて、被害者に対する電話・ファックス・電子メール等8項目の行為も禁止できるようになった（接近禁止命令の実効性確保のため）。
- ③ 被害者の親族等も接近禁止命令の対象となった。

●基本計画の策定と支援センターの設置が、市町村の努力義務となった。

●支援センターの業務として、被害者の緊急時における安全の確保が明記された。

●保護命令が発令された場合、裁判所は当該支援センターに通知することとなった。

..... 配偶者暴力被害者支援センター

県生活学習館(ユニー・アイふくい) 0776-41-7111

県総合福祉相談所女性相談課 0776-24-6261

県健康福祉センター

福井：0776-36-2857 坂井：0776-73-0622

奥越：0779-66-2076 丹南：0778-34-1790

丹南（武生福祉保健部）：0778-22-4135

二州：0770-22-3747 若狭：0770-52-1300

◇◇ 研修会内容 ◇◇

☆福井・勝山・嶺南の3会場でそれぞれ4日間（17時間）。

☆保育の心、心をつなぐコミュニケーション、食生活、病気、看護や事故予防など多方面にわたる講義。

☆実技は、おもちゃ作りや歌・ふれあい遊び、絵本の読み聞かせの練習。子ども預かり場面のロールプレイや、発想を柔軟にして話す・アンテナをめぐらして聴く訓練など。



牛乳パックなどを利用して作った
びっくり箱やけん玉。子どもと一緒に作れます。

仕事と育児の両立を応援します

—— ふくい緊急サポートネットワーク事業 ——

会員募集中(登録は無料)！

利用会員：働く保護者

支援スタッフ会員：子育てを手伝いたい方（研修会受講が必要）

*事業の実施は、県内6つのファミリーサービスクラブ
(福井・越前・鯖江・勝山・敦賀・小浜)

*料金 700円～900円／1時間（交通費別途）

*詳しくは、ふくい女性財団まで TEL. 0776-41-4234

子どもの心肺蘇生法実習



■ファミリーサービスクラブは、「会員相互の助け合い」により、仕事と育児の両立および社会参加支援を促すため、家事援助や子育て支援など地域に根ざして活動を進めています。

(坂井を含め全7クラブ)

■福井・越前・鯖江・勝山の4クラブは、福井県の「すみずみ子育てサポート事業」(利用料の半額補助)も実施中。

いま活躍しています

連合福井女性委員会

委員長 谷澤 澄枝

連合福井女性委員会は、連合福井構成組織の働く女性組合員一万四千余人余りで構成する大きな団体です。女性に関する制度の改善と男女平等の社会づくりを進める目的で活動しています。

組合活動や職場・家庭・地域の中の課題を取り上げるステップアップセミナー（年3回）は、ワークショップ形式で参加できる人気の活動です。

9月、「男女がともに生き生きと働ける職場づくり」をテーマに、男性職と関わっている救急隊員・バス運転士として働く女性2名と、女性職と思われる保育士・看護師として働く男性2名をパネラーに迎え、パネルディスカッションをしました。パネラーの苦労話やこれからの抱負を聞き、参加者同士意見交換をしました。男女がともに働きやすい職場を作ること、女性が働きやすい職場は男性も働きやすい職場であることなど、有意義なセミナーでした。



セミナーのほかに仕事と生活の両立を求めるワークライフバランスの実現に向けて、女性に関わる政策・制度の要求活動、女性の労働環境を向上させる取り組み、平和運動への参加、連合福井女性集会や学習会などの活動は広く多方面にわたっています。

福井県女性エネの会

会長 政野 澄子

今、燃えています！

深刻化している地球温暖化とエネルギー問題について、正しく知識を得るための学習会・見学会等で「見て、聞いて、学んで、知る」を目標に多くの事業に取り組んでいます。

●紙芝居啓発活動

県下各地で現在までに65回実施。主に町内会・老人会・小学校等で開催し、昨年末は、県庁ロビーでも上演。見学者から非常に喜ばれ、勉強になったとの意見があり、少しでも理解者が増えてきたことを喜んでいます。



●ブロック別学習会

今日的課題である地球温暖化とエネルギーについてのテーマで、県下8ブロックで自主的企画のもと実施。講演あり、実験あり、フォーラムありで、省エネ対策の重要性を再確認することができたと思います。

新会員申込みもあり、今後も益々この活動に情熱を燃やしたいと思います。

全国会議体験記

「日本女性会議 2007 ひろしま」に参加して

福井県食生活改善推進員連絡協議会 室谷 勝乃

10月19・20日の日本女性会議に大野から3名参加することが出来ました。

「一人ひとり響きあっていまそして未来へ」のテーマのもとに日本全国から3,000人余りの人達が集まったが、そのパワーに圧倒されました。16の分科会は食育・福祉・環境・平和・労働・育児などの問題に加えて、「女性のこころとからだ」「災害と女性施策」といった特徴ある問題を取り上げられていたのは、公募で参集した実行委員の手作りの大会であったからかもしれません。

2日目のシンポジウム～男女平等・多様性が受け入れられる社会づくりを目指す～で、パネラーの韓国女性から、「日本の女性よ、一人ひとりを大切にしてみよう活動せよ」との発言は私を驚愕させました。

女性が女性を差別し、娘、息子を差別し、自分自身をも差別している現実から、一人ひとりが幸せな社会のために男女共同参画社会を目指さなければならないと痛感しました。

*全国会議への参加は、ふくい女性財団が賛助団体に対して行う「女性団体活動支援事業」の対象となります。

情報コーナー

INFORMATION

★ふくいきらめきフェスティバル2008

とき 6月21日(土)・22日(日)
ところ 福井県生活学習館

★ふくい女性塾

テーマ 防災
とき 今秋開催予定

★日本女性会議2008とやま

とき 10月17日(金)・18日(土)
ところ 富山市オーバード・ホール他
テーマ 煌く人とひと、連なる峰々へ
参加募集 5～6月頃(予定)

★日本まんなか共和国男女共同参画フォーラム

とき 11月8日(土)
ところ 三重県津市

編集後記

住んでいる人が主体的に考え参加してこそ、より良いまちになります。ふくい女性塾で学んだことを実践！

発行者 (財)ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1
福井県生活学習館(ユニー・アイ ふくい)2階
TEL:0776-41-4254 FAX:0776-41-4260
E-mail:fujho-zai@cnr.ne.jp URL:http://www.f-jhosei.or.jp